

くらしを支える電気(「水道・電気・ガス」の選択単元) (第10時)

本時のねらい(10/10)

完成した新聞を学級の友達に紹介することを通して単元の学習を振り返るとともに、節電に対する意識を高めることができるようにする。

使用する図解

図解28 ひかり輝く地球と日本列島の衛星写真

図解30 ①電力会社からの節電要請

指導過程

時間	児童・生徒の活動	教師の支援
20分 (20分)	1 「電気はかせ・研究新聞」を紹介し合い、単元のまとめと学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ内で新聞を読み合うようにする。 ●感想を簡単に話し合わせる。
25分 (25分)	<p>2 節電について考える。</p> <p>(1) 電気を売る会社が「節電」を呼びかける理由を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気が不足して停電になるかもしれないから ●資源を大切にするため ●電気はためておけないから、むだになる ●節電しないと、発電所をどんどん作らないといけない <p>(2) 電気使用について、地球的視点から考える。</p> <p>(3) 各自が家庭で取り組んでいる節電の方法を発表したり、今後取り組みたい方法を話し合ったりする。</p> <p>3 作成した研究新聞を校内掲示し、節電を呼びかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●図解30-①を提示する。 ●電気を売る会社が節電を呼びかけるという「矛盾」を理解させた上で、話し合いをさせる。 ●節電を呼びかけることが多い季節について問うと、ピークカットについての考えが出てくる。 ●節電には、電力需要のピークを乗り越えるために作る発電施設への設備投資を控える働きもある。 ●図解28を提示する。地球規模でも節電は重要であることに気付かせる。 ●実践可能な節電方法をできるだけ多く発表させる。 ●発表された節電方法の中から、自分で取り組みたいことを選択させる。